

埼玉佛教

平成30年10月 第216号

平成30年10月1日 発行
No.216

〒330-0063

さいたま市浦和高砂4-13-18

一般財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 倉持 秀裕

http://saibutu.net

印刷所 関東図書株式会社



主催者を代表して挨拶をする倉持秀裕会長（埼玉会館・平成30年9月10日〔月〕）

編集後記	8
事務局日誌	8
訃報	8
・第21回講演会	7
「埼玉県宗教連盟」	
▼トピックス	
・地区仏教会だより	
・妻沼戦没者慰霊祭	
法話のつどい	6
▼平成30年度	
第1回執行部会	6
▼集団扱い保険制度創設	6
▼第70回埼玉県各流	
讃佛歌奉詠大会	2
▼第40回埼玉県佛教徒大会	
・行田市の紹介	4

目次



70回大会記念品（左）と参加記念品（右）

第70回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

◆平成30年9月10日(月)、埼玉会館・大ホールにおいて埼玉県各流讃佛歌奉詠大会が開催された。本大会は今年で第70回を迎える大会となった。参加者は617名、参加支部・講は別掲の通り。今年の記念品クリップの色は白色。その他、70回の節目を迎え記念ボールペンが配付された。

◆模範奉詠 (奉詠順)

◇曹洞宗

・梅花流特派師範

長塩 寿秀 師 (加須市)

曲目『報恩供養御和讃』

◇浄土宗

・吉水流二級詠唱教司

川村 良元 師 (静岡市)

・吉水流二級詠唱教司

中村 康祐 師 (静岡市)

曲目『月影の御詠歌』

『彼岸和讃 (舞)』



吉水流・中村康祐師 (舞)

◇真言宗智山派

・密厳流遍照講・指導師範 詠

匠

柳下 千佳 師 (横浜市)

曲目『大聖釈迦牟尼如来

涅槃和讃 付月影』

◆賀儀 (順不同)

ありがとうございました。

◇神奈川県・観音寺

柳下千佳 様

◇川口佛教会 様

◇蕨市・三学院

倉持秀裕 様

◇川口市・密蔵院

山口正純 様

◇さいたま市・東泉寺

河野亮玄 様

◇鴻巣市・宝持寺

馬場知行 様

◆運営協力 (順不同)

机・椅子のご提供、ありがとうございました。

◇遍照院 様 (上尾市)

◇大應寺 様 (富士見市)

◇多福院 様 (戸田市)

◆参加支部・講 (一覧(敬称略))

参加支部・講名 (流派・市町)

※赤字は特別表彰支部・講 (全37講)

(第61回～70回の内9回以上出場)

紅組

埼玉第一教区寺院婦人会

〔密厳流・川口市〕

埼玉第六教区寺院婦人会

〔密厳流・加須市〕

埼玉第二教区寺院婦人会

〔密厳流・戸田市〕



埼玉第四教区寺庭婦人会

〔密厳流・春日部市〕

埼玉第三教区寺庭婦人会

〔密厳流・さいたま市〕

真蔵院支部

〔密厳流・宮代町〕

法恩寺支部

〔密厳流・越生町〕

宝性寺支部

〔春組〕

〔密厳流・さいたま市〕

大智寺支部

〔密厳流・坂戸市〕

龍蔵山支部

〔密厳流・鴻巣市〕

多福院支部

〔密厳流・戸田市〕

円蔵院支部

〔密厳流・さいたま市〕

觀福寺支部

〔密厳流・白岡市〕

石上寺支部

〔密厳流・熊谷市〕

錫杖寺支部

〔密厳流・川口市〕

宝性寺支部

〔夏組〕

龍福寺支部

〔密厳流・坂戸市〕

宝性院支部

〔密厳流・杉戸町〕

密蔵院支部

〔密厳流・川口市〕

吉水講埼玉教区本部

〔吉水流・児玉町〕

〔密厳流・さいたま市〕

〔密厳流・坂戸市〕

〔密厳流・皆野町〕

〔密厳流・鳩山町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・杉戸町〕

〔密厳流・久喜市〕

〔密厳流・上尾市〕

〔密厳流・本庄市〕

〔密厳流・川口市〕

〔密厳流・志木市〕

〔密厳流・さいたま市〕

〔密厳流・富士見市〕

〔密厳流・久喜市〕

〔密厳流・久喜市〕

〔密厳流・久喜市〕

〔密厳流・久喜市〕

〔密厳流・久喜市〕

〔密厳流・久喜市〕

遍照院支部

〔密厳流・久喜市〕

密蔵院支部B班

〔密厳流・川口市〕

〔密厳流・川口市〕

〔密厳流・川口市〕

〔密厳流・川島町〕

〔密厳流・さいたま市〕

〔密厳流・本庄市〕

〔密厳流・加須市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

〔密厳流・朝霞市〕

大榮寺支部

〔密厳流・坂戸市〕

今泉山支部

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕

〔密厳流・吉見町〕



◆第70回記念特別表彰

本大会は今年で第70回目の節目を迎える大会となった。昼食時間のあと、午後の奉詠に先立ち、法要を行い参加者全員で三歸依文、般若心経を誦経し、曹洞宗埼玉県第一宗務所寺族会の協力を得て、三宝御和讃を奉詠。倉持秀裕会長による主催者あいさつに続き、第61回大会から、今大会までに9回以上参加された支部・講へ特別感謝状の贈呈が行われ、曹洞宗埼玉県第一宗務所寺族会が代表して、特別感謝状の贈呈を受けた。

第40回埼玉県佛教徒大会

《行田市の紹介》

埼玉県北部にある人口約8万人の都市。「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が日本遺産に認定されている。

映画「のぼうの城」、小説・ドラマ「陸王」の舞台にもなっており、放送期間中に大きな経済効果があつたという。

利根川と荒川の恵みを受け、歴史と自然に恵まれた街で、市内全域が平坦な地形をしており、年間を通して際立った風水害や降雪もなく、災害の少ない地域である。また、東京都心から車で約60分圏内、さいたま市から約30分圏内にあり、通勤・通学やレジャーにも便利。そして、市内には悠久の眠りから目覚め開花した古代蓮など42種類約12万株の蓮の花が咲く「古代蓮の里」、江戸時代の忍藩十萬石の

城下町を今に伝える「忍城址」のほか、足袋の産地を物語る「足袋蔵」が点在する風情ある街並みなど、豊かな自然と歴史が息づく街となっている。

《県名発祥の由来》

およそ1200年前の奈良時代にできた『万葉集』の中に「前玉なまたまの小埼おさきの沼ぬま」や「佐吉多万さきたまの津つ」の歌がある。この「さきたま」は、現在の行田市埼玉周辺をさす地名であり、今も前玉神社や字名は「さきたま」と読む。また、平安時代にできた『倭名類聚抄わなむらじょう』には、より広い郡名として「埼玉・佐伊太末」とあり、埼玉県の東部地域を「さいたま」郡と呼んでいたことがわかる。このように、小さな地名「さきたま」が変化して、より広い郡名「さいたま」として用いられるようになっていき、長

い歴史を経て、明治4年11月14日、現在の北埼玉郡、南埼玉郡と葛飾郡の一部がまとめられて「県」となり、そのときの管区内のもつとも広い郡名が採用され、「埼玉県」が誕生した。その後、県域はいろいろと変わったが、明治9年に現在の埼玉県域が確定した。

埼玉県名発祥の地といわれる行田市埼玉には、国宝「金錯銘鉄剣てつけん」が出土した稲荷山古墳をはじめ、9基の大型前方後円墳からなる「埼玉古墳群さいたまこふんぐん」があることから窺えるように、古代文化の花開いた地の歴史ある名前、それが「埼玉」なのである。

《和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田》

テレビドラマ「陸王」で取り上げられた行田の足袋は、主に旅行用や作業用として作られていた。行田は木綿の産地でもあり、近くに中山道が通っていたことで、旅行や作業用の足袋づく

くりが盛んになったと考えられている。

「日本遺産」は文化庁によって平成27年度に創設された新しい文化財制度で、地域に点在する史跡・伝統芸能など有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定するもので、行田市が申請をしていた「忍城の城下町行田の裏通りを歩くと、時折ミシンの音が響き、土蔵、石蔵、モルタル蔵など多彩な足袋の倉庫「足袋蔵」が姿を現す。行田足袋の始まりは約300年前。武士の妻たちの内職であつた行田足袋は、やがて名産品として広く知れ渡り、最盛期には全国の約8割の足袋を生産するまでに発展した。それと共に明治時代後半から足袋蔵が次々と建てられていった。今も日本一の足袋生産地として和装文化の足元を支え続ける行田には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きあ

る景観を形づくっている。』というストーリーが平成29年4月28日に県内初の「日本遺産」に認定された。

《B級グルメ》

戦前農家で手軽に作られていたフライは、腹持ちが良いこともあって、昭和初期の行田で全盛期を迎えた足袋工場で働く女工さんのおやつとして人気があつた。その名の由来には、行田周辺が布の産地だったことから「布来」になつたという説がある。そのほかにも、フライパンで焼くからフライ、「富よ来い」に引っかけたフライになつたなど、いろいろな説がある。

この家庭料理がいつから店で売られるようになったのかは、確かな記録はないが、大正時代末頃、タバコを売りながらフライを売っている店があつたそうである。現在、市内には30店ほどのフライ屋が点在しており、1枚300円位で食べられる。

入場無料

第40回埼玉県佛教徒大会

《大会テーマ》

あなたの幸せがわたしの幸せ

日時 **平成30年10月4日(木)**

開場 (受付開始) 12:00・開会13:00・閉会15:30(予定)

会場 **行田市教育文化センター「みらい」文化ホール**

[〒361-0032 行田市佐間3-24-7 / 電話048-556-2649]

《大会次第》

開会行事

- ①開会のことば
- ②記念法楽《開経偈、三帰依文、般若心経》
- ③大会会長挨拶 (一財)埼玉県佛教会会長 倉持 秀裕
- ④来賓祝辞
- ⑤諸連絡

記念講演

『ほほえみと愛の言葉を 一ぬくもりの修行―』

・青山俊董師 (曹洞宗・愛知専門尼僧堂堂長)

アトラクション

『語りと音楽…蜘蛛の糸、その後のカンダタ』

・語り/まちこ 音楽/行田アンサンブル協会

閉会行事

閉会挨拶

「集団扱い保険制度創設」

本会が平成30年度の事業として事業計画に掲げている「自動車団体保険制度」が8月1日から開始となった。

これに先立ち、平成30年7月10日（火）、24日（火）の2日間の日程に分けて、東京海上日動火災保険の社員研修会、代理店研修会が埼玉佛会館において実施され、両日ともに本間主事補が研修に参加した。



平成30年度 第1回執行部会・懇親会

平成30年7月30日（月）、17時から平成30年度第1回執行部会が会長の自坊、三学院（蕨市）を会場に開催された。会場となった集会の間は壁の一面がガラス張りとなっており庭園を望む優美な一室。



執行部会は、正副会長、専務理事、常務理事の計8名で構成される。日々、事務局に寄せられる諸事万端について方針を定めるために開催し、具体的には、平成30年10月22日（月）に開催を予定している平成30年度第3



回理事会で協議される予定。当日は会議終了後、倉持秀裕会長が推薦する老舗うなぎ店で英気を養った。

地区仏教会だより

「戦没者殉難精霊

慰霊祭と法話」

妻沼仏教会

平成30年9月11日（火）、妻沼仏教会傘下の妻沼地区仏教会の

主催により、歓喜院本坊を会場に「戦争殉難精霊慰霊祭と法話」が開催された。慰霊祭では、鈴木英全院主を導師に8名の職衆により法要が厳修され、20名程の戦没者遺族が焼香した。



続く、記念法話では、三浦清志師（さいたま市・大松院・前埼玉県佛教青年会会長）が『仏教の十の戒め』と題して40分にわたる法話を行った。

私たちは、日々の暮らしの中で、心がけたい10の項目があります。それが十善戒です。そしてそれは、身体の行い『身』を



表す①不殺生②不偷盗③不邪淫
次に、言葉の行い「口」を表す
④不妄語⑤不綺語⑥不悪口⑦不
両舌⑧不慳貪⑨不瞋恚⑩不邪見
に分けられます。心と体と言葉、
つまり『心口意』を整える意味
を表したこの10の戒めのうち一
つでも心に留めて生活すること
で、みなさんの「生きる力」が
湧いてくるのです。一日一回、
仏様や戦没者のことを想って手
を合わせてみてください。私た
ちはみんな仏様の性質「仏性」
を備えているものです。心静か
に仏様に祈る事によって、その
仏性に気がつく事ができると思

います。そして、心と体と言葉
を整える事で心安らかに人生を
送ることができると思います。
※法話の際に、皆様に配付し
た「十善戒絵解き図」は真言宗
智山派の公式ホームページでご
覧いただくことができます。

秘仏ご開扉
妻沼聖天山の御本尊とし
て祀られている秘仏が、前
回から23年ぶりとなる平成
31年4月15日(月)の開白法
会后、16日(火)〜22日(月)
にご開扉、一般に公開され
る。

**ト
ピ
ッ
ク
ス**

埼玉県宗教連盟

「第21回講演会」



平成30年9月13日(木)、埼玉
県神社庁(さいたま市大宮区)
に於いて、埼玉県宗教連盟主催

(本会会長・倉持秀裕理事長)
の第21回『埼玉連』講演会が開
催された。加盟団体から約80名
が参加した。本会から、倉持秀
裕会長、深谷雅良専務理事、大
嶋法道評議員、實淨龍彦評議員、
佐々木俊道代議員(川越)、村
井惇匡代議員(東松山・滑川)
ら11名が参加した。

講師は埼玉県神社庁・事務局
長で同連盟理事の武田淳氏。「神
道入門講座―今さら聞けない神
社のはなし―」と題し、90分の
講演が行われた。

講演では、神社本庁の目的や
沿革の他、伊勢神宮を他の神社
に比べて格別の存在であること
を示す尊称として、「本宗」と
仰いでいることについて説明が
なされた。また神道は、經典や
定まった教義を持たず、日本人
の生活様式の構成要素であった
ため、自覚されることもなく、
仏教の布教活動のように神道を
広める活動もなかったという。

また神社の鳥居や社殿には

様々な様式があり、社殿の中に
は、かつての神仏習合の信仰形
態を有する所もあるという。神
社の建物の床は、地面より高い
ため、床下に下殿と呼ばれる、
特殊な部屋が設けられ、僧侶が
仏像や仏画を祀り、仏式で、神
を拜むほか、仏事を営んでいた
とのこと。

その他、神棚の設け方、神社
参拝の方法や神職さんの日常に
ついて分かりやすく説明いただ
いた。



計報

お悔やみ申し上げます。

平成30年 7月

3日 本庄市増国寺(曹洞)

北條 昭彦 師(74歳)

8月

3日 羽生市観乘院(豊山)

小沼 隆澄 師(92歳)

12日 入間市蓮花院(智山)

児玉 政淳 師(80歳)

事務局日誌

平成30年 7月

10日 東京海上日動火災保険社

員研修会(埼佛会館/本

間)

24日 東京海上日動火災保険代

理店研修会(埼佛会館/

本間)

30日 平成30年度第1回執行部

会(蕨市三学院) / 懇親

会(うなぎ今井)

8月

11日 夏期休暇(15日)

27日 臨時教化委員会・奉詠大

会打合せ会(埼佛会館)

9月

4日 行田市佛教会主催、第40

回埼玉県佛教徒大会第2

回打合せ(行田市教育文

化センター・みらい/金

子局長、小池)

6日 「埼佛青」写仏

10日 第70回埼玉県各流讃佛歌

奉詠大会(埼玉会館)

11日 戦没者追悼慰霊祭・記念

法話(歓喜院/小池)

13日 「埼宗連」第21回講演会

(埼玉県神社庁/金子局

長、小池、永堀)

夕暮れ時早めのライト点灯運動実施中

平成30年10月~12月

- 夕暮れ時や夜間に外出するときは、反射材を身に付け、明るく目立つ色の衣服を着用しましょう。
- ライトは、夕暮れ時から早めに点灯させ、夜間は必ず点灯させましょう。

埼玉県交通安全対策協議会事務局
(埼玉県県民生活部防犯・交通安全課内)
電話 048-825-2011

編集後記

世界各地で自然災害が多発しており、まるで地球が病にかかったかのようです。台風7号の7月豪雨で西日本地区、21号で関西地区に甚大被害が発生し、続くように北海道地区に大地震が発生いたしました。

犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。合掌(鯉)

新年年賀名刺広告

について

平成31年1月初旬に発行予定の「埼玉佛教」新年号に年賀名刺広告を左記の通り募集いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

記

サイズ 43mm(横)×61mm(縦)
金額 一万円

申込方法 連絡先を明記の上、原稿をFAX(048(864)6649)又は郵送にて、事務局までお送りください。後ほど事務局から確認の連絡をいたします。過去の年賀名刺広告と同じ場合は、お電話でも承ります。

【発行後、掲載紙と振替用紙をお送りいたします】

申込先 埼玉県佛教会事務局
〒330-0063
浦和区高砂4-13-18
☎048(861)2138